くにみ

【第47号】
昭和36年8月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤善次郎
編集人 鈴木・美一
印刷所 宇佐美印刷所

◎今月は町県民税、国民健康保険税第二期の納期です ◎毎月五日・二十日を定休日といたします（商工会）

人権擁護委員制度を活用しましょう

よく新聞その他に、人権問題とか人権じゅうりんということばを見受けます。人権とはどういうことをいうのでしょうか。

人権とは、通常、憲法に基本的人権として保障されているものをさしておりますが、要約すれば、「わたしたちが、国家社会において幸福な生活を営むに必要な人間としての権利」ということができましょう。

しかし、わたしたちのまわりで、はたして現実に人権尊重の考え方が、充分に行きわたっているでしょうか。長い間の封建的因習等によって、個人の尊い人権をかえりみないような気風が、まだ残っていはないでしょうか。

もちろん、この大切な人権は、国民各自がまもっていかなければならないことはいうまでもありませんが、個人の力には限界がありますので、自分一人の力だけではどうしようもないようなことがよくあります。

それで、各市町村には、絶えずわたくしたちの人権が侵されることのないようにみまもり、もし人権が侵されたような場合には、それをよく調査して侵された人権を回復する処置をとり、また、常に人権思想の普及高揚に努めることの使命をもって、地域内の有識者のうちから法務大臣によって委嘱された人権擁護委員の方方がおられるわけです。

わたくしたちの人権が侵された場合、人権擁護委員に相談されれば、秘密を守り、法務局やその支局とも密接な連絡をとって、適切な解決を図ってもらえることになっております。わたくしたちの町の人権擁護委員は次の方方です。

〃泣き寝入りそれがいけない旧思想〃

泣き寝入りをするからこそますます悪がはびこることにもなります。お互いに勇気を出して、身近の人権についての困りごとは、遠慮なく人権擁護委員に相談して、昨日よりも今日、今日よりも明日へと明かるく楽しい毎日をすごしてまいりたいものです。

記

早田盛　藤田堤下
佐藤善次郎　小坂小坂
毛利久　光明寺鹿野

人の命は何よりも尊い……「水難事故防止」

森江野で講習と協議会開く

森江野地区では、防犯協会PTA並に小学校の共催で、人工呼吸法、水難救助法の講習並に水難及び農薬による事故防止の協議会を開いた。

七月二十二日午後二時、新装なったプール並びに講堂を会場とし、桑折警察署の次長・長沼部長・加藤巡査を講師に迎え、消防団員・青少年補導員・婦人会員・青年団員・小学校子ども会長（六年生）等に対し、講義や実演実習を通して指導された。

集るもの約八十人、ことしこそ絶対無事故とはりきって受講された。

【写真】は人工呼吸法練習

議会だより

七月臨時議会

七月十五日町議会臨時会が開かれ「国見町国民健康保険税条例の一部改正の件など六件」審議可決された。会期は一日、議案次のとおり

記

日程第一　国見町国民健康保険税条例の一部改正の件（町長提出）
同　第二　財政調整積立金処分の件（同前）
同　第三　公営住宅建設の件（同前）
当町大字山崎字滝山八番地に二十戸（一戸九坪）建設することを原案とおり可決
同　第四　県北中学校舎増築の件（同前）
統合による校舎二百坪五合増築することを原案とおり可決
同　第五　公営住宅建設工事請負契約締結の件（同前）
金五百八十五万円で国見建設工業協同組合と工事請負契約締結することを原案とおり可決
同　第六　県北中学校舎増築工事請負契約締結の件（同前）
金六百七十八万円で有限会社国見工業所と工事請負契約締結することを原案とおり可決

国民健康保険税について協力方お願い

社会保障制度の一環である町の国民健康保険事業は、被保険者である皆様のご理解と協力により、健全財政を堅持しつつ皆様の健康の向上に寄与し得ますことは、まことによろこばしい限りでございます。

私共が真に健康であってこそ楽しい生活もでき、また社会に適応した活動も出来るものと思いますので、一層この制度を理解し、罹病の際は一日も早く国民健康保険を利用して、早期に快復して頂きたいと存じます。

国民健康保険事業を予算書から三五年度と三六年度を較べてみましょう。

	歳入（当初予算）	昭和三五年度	昭和三六年度
国民健康保険税		八、九九六、〇〇〇円	九、九九九、〇〇〇円
国庫支出金		六、九九六、〇〇〇円	八、四一二、〇〇〇円
その他		五、六六、八三六円	九、四〇、八五四円
計		一六、五〇一、〇〇五円	一九、〇四七、二五四円

	歳出（当初予算）	昭和三五年度	昭和三六年度
役場費		一、九六一、四〇一円	一、九六一、二二〇円
保険給付費		一三、三五七、六六〇円	一五、三五七、七五〇円
保険施設費		九六六、五九六円	一、〇四一、一〇五円
その他		四三、五五六円	九三、二三三円
計		一六、五〇一、〇〇五円	一九、〇四七、二五四円

したがって皆様に真接関係ある国民健康保険税はどうなるかをみますと、九七八、〇〇〇円が増額になっております。これは予想される医療費単価の改訂と受診率の増加による医療給付を充すためであります。国庫支出金も昨年度に比し一、二八四、二〇〇円の増額を見込ております。

なお税率は左のように改正され各納税者の税額は昨年度より増額されることとなりましたが、右の事情御諒察の上保険税納付に是非ご協力をお願い申上げます。

税	率
三五年度	三六年度
所得割	百分の一、九
資産割	百分の一、七

農業振興と集落活動

農業振興「村づくり」にあたっては、農民の自主的な総意に基いて、総合的に計画をたてる必要がある。また、計画を実施するにあたっては、適地・適産を基調とする地帯別農業振興をはかっていくことが条件となろう。

今後の農業生産には、農産物の選択的拡大が必要であるといわれるが、これは地域に合った農産物を生産することと、今後の食糧需要の動向に見合った農産物を生産することである。

以上のような方針に基づいて計画をたて、これを実践するためには、品質の安価に生産する鶏・養蚕・果樹・そ菜等適地適作の原則に基づいて生産の拡大をはかり、特産地を形成していくことである。このように産地の集団化を推進するには、集落における組織活動が活潑に行われなければならない。集落内において積極的に話合いの場をつくり、或は研究会をつくって、目標と手段を統一した農業経営を実行してゆくための組織活動こそが必要である。

今後、農業生産の選択的拡大や、生産性の向上をはかっていくためには、集落が一つにまとまって、それぞれの地域に適応する事業を実施することであり、単に個々の農家が多角的に経営して生産物の増大だけをはかっていくことではない。

農産物の流通対策が重視されるとき、農産物の販売については、品質と数量を確保しながら有利に導くことが必要である。このような点においても、集落活動の必要性が理解されよう。

（国見町経済課）

健康国見の建設へ

みんなそろって検診を

国見町から結核を追放し、みんなの健康を守ろうという運動は、町発足と同時に始められて、今や九九パーセントの効果をあげ、ほとんどその目的が達したの観がありますが、しかしながら、相手は目に見えない病菌のしごとであり、油断は禁物です。その証拠に、年々幾人かの新患者があらわれて周りの人々をおどろかせ、悲しませております。

結核をなくす最良の方法は、早く見つけて早くなおすことです。早期発見をするために、町民はみんなそろってX線撮影を受け、又自分の体に自信を持ちましょう。

結核予防会と協力し、右記日割で検診を行ないますから、もよりの場所で受検して下さい。都合の悪い方は他の場所でも受けられます。

結核検診日　時間　自午前九三〇　至午后三三〇

月日	実施場所	部落名	該当者数
8 24	光明寺公民館	光明寺	253
〃	大木戸公民館	大木戸・高城	442
〃 25	大木戸小体育館	山根	181
〃	貝田公民館	貝田	346
〃 28	小坂小体育館	泉田・上田 小坂・太田 川・鳥取	645
〃	前田作業場	前田・内谷 西東・泉田下	503
〃 29	森江野講堂	森江野全地区	1.570
〃 30	大枝小体育館	大枝全地区	612
〃 31	石母田公民館	石母田	477
〃	山崎公民館	山崎北・南前 山崎駅	503
9.1	藤田小屋内 体操場	錦町・大町南橋 北・本町・板橋	773
〃	〃	宮町・南北町 東・鶴町	619

まんだん

（大原君〇〇小吉君）

酒防法（二）

大「そしてこれを親族、知人等に知らせ、引取ってもらう。」

小「引取り者がないときは。」

大「二十四時間以内にその酔いをさます限度で保護する。」

小「警察官の人権侵害問題が起きないかな。」

大「毎週警察官は裁判所に通知することになっている。」

小「これからは、よっぱらっても、警察官の保護をうけられるから、安心して飲めるというわけか。ありがたいことだ。」

大「いや、これはたいへんだ。酒の上でしたことだからとこれまでのようにおおめに見てもらうことができなくなったのか。」

大「それにだね、このようなことをさせたものは、教唆又は幇助の罪として正犯に準ずるというのだから、よっぱらいだからといっておだてたり、からかったりもできないぞ。」

小「おやおや、それでは君とも当分飲まないで、もっぱら家の中で大いに飲むことにするかな。」

大「ところが、酩酊者が家の中で暴行などしようとしているようなときは、警察官は、その家の中に立入って職務を執行することになっている。」

小「おやまあ、安全なるべきわが家でも存分飲めないのか。」

大「まあ、君のようなアル中患者は速やかに保健所長に通報してもらい、医師の診察を受け、保健指導や治療をお願いするのだな。」

いぎ時世になったもんだ。」

大「と、と、とんでもない。銘酊者が、公共の場所又は乗物において、公衆に迷惑をかけるような粗野又は乱暴な言動をしたときは、拘留又は科料を処せられ、警察官の制止に従わないで、公衆に著しい迷惑をかけたときは、一万円以下の罰金に処せられる。」

小「おやおや、これはたいへんだ。」

大「あなたは、酩酊者が家の中で暴行などしようとしているようなときは、警察官は、その家の中に立入って職務を執行することになっている。」

小「おやまあ、安全なるべきわが家でも存分飲めないのか。」

大「まあ、君のようなアル中患者は速やかに保健所長に通報してもらい、医師の診察を受け、保健指導や治療をお願いするのだな。」

厚生課だより

△ポリオ生ワクチンの一斉投与終る。

該当児一、二二九名の中投与者一、〇二一名（八三％）発熱その他の理由による未投与者には改めてお知らせします。

△ゴキブリ油虫（退治）!!

小児マヒ・せきり等の防疫のため

○台所からゴキブリを追放しよう

○きたないゴキブリから食物を守ろう

退治薬品をあつせんしますから、保健委員か役場厚生課にお申込み下さい。

◎豊作にみんなそろってまず健康　◎今年の町民体育大会は十月八日の予定です

労働と休養

命を大切にするために 定休日を考える

労働と休養とは、車の両輪のようなもので、常に相互に補い、助けあって、人びとの生命と生活を維持しています。

もし一方の労働のみが過重であれば、たちまち健康をそこねますし、他方の休養のみを重視すれば、生活に倣んをきたします。この二つは常にバランスを保っていることが大切で、このバランスの上に私たちの健やかな毎日の生活があるといえましょう。

しかし、今日の私たちの生活では、このバランスをとることが非常にむずかしく、多くの場合、労働が過重になりがちです。特に婦人の場合にその傾向が著しいようです。

また、農繁期における農家の方々の過重労働は、正に殺人的といっても過言ではありません。

都会の近代的な工場では、労働条件の一つとして、休息や休日について、はっきりした取りきめがあって、働く人人はそれによって、労働と休息を組み合せて活用しています。ですから、就業中にまつた疲労も、休息時間や休日に発散できて、体力を回復し勤労意欲を高め、休息後の労働をさらに楽しく、一段と効果もあげられるわけです。

これに引きかえ、農村や一般家庭では、仕事仕事とただ働きつづけているのが実情です。こうした人びとのからだには疲労がたまり、やがては労働の喜びも、意欲も失ってだらだらと、非能率的な仕事をつづけたり、中には農繁期明けを待つか待たずに疲れをおこして、医薬にたよるというようなことにもなります。

私たちの考えの中には、まだまだ〝古臭いもの〟が残つていて「休む」とか「遊ぶ」とかいうと、大変悪いことのように考えてしまいます。しかし、労働を尊び労働に励むことと、人命を尊び人生を楽しむことは、矛盾することなのでしょうか。一般に人人が労働に励むのは、それによって豊かで、楽しい人生を築くことに目的があります。働くことそのことが目的ではありません。しかし、なかなかその目的が得られないために、多くの人が休養を無視して働きつづけ、遂には病気になって不幸を招いてしまうのです。

私たちが、ほんとうに幸福な生活を望むなら、ただがむしゃらに働くばかりでなく、どんなに現実がきびしくても「窮すれば通ずる」言葉を信じて、みんなの知恵を持ちよつて、適当な休養をとることを工夫したいものです。これについてみんなの意見を次に並べてみましょう。

Aさんの話

休養は小刻みに……

お盆、正月、お祭などと、年に二三回大きく休むより、毎月、毎週、毎日の生活の中に小刻みにとり入れたい。

Bさんの話

計画的な休養に……

部落内の冠婚葬祭や雨天の日を休養にあてるというだけでなく、自主的に休息時間、休日を設け、計画的な休養をとりたい。

Cさんの話

休養は家族そろつて……

お正月やお祭に、主人はのみづかれ、主婦は接待づかれなど不公平がないよう、またバス旅行などには必ず夫婦そろつて出かける。

Dさんの話

他人の休息を妨げない……

サラリーマンの日曜日に訪問したり、商店の公休日に裏口買いをすることは、どうかとおもう。お互に他人の休養権を尊重するなら、午睡時刻や深夜の訪問、集会などは避けたいものです。

Eさんの話

三養素で幸福な生活を

よく働くためには休養のほかに充分な栄養をとることと人間としての教養を積むことが必要である。栄養・休養・教養は、幸福を築きあげる三要素である。

Fさんの話

みんなの力で定休日を

私たち農民といえども、一週間一度の休日は欲しい。今すぐ日曜制採用は不可能だとしても、年間五二回ある日曜の半分は休日とし、あとの半分は国民の祝日(九日)や郷土社会の伝統的行事の日(節句・神事仏事などのE)をあてることにしたらどうか。そしてこれを全町の公休日と定め、みんなの教養やレクリエーションの時間にあてることにする。

(後記)さてこのことについてみなさんのご意見もおききしたいと存じます。ハガキ又は封書で公民館宛にお知らせ下さい。

ことしも盛大に 親子盆踊りを

すつかりわが国見町の名物になつた森江野の親子盆踊りことしも九月一、二日頃行われる。

農協・消防団・PTA・婦人会・青年団のほか、ことしは更に農青連や農協婦人部も参加し、名実共に、地区をあげての大行事にしようと、関係者で実行委員会をつくり、部落長、町議、学校長を顧問として、大会準備にはりきつている。ことしは、森野草中氏ほか地区民作の歌詞に、にぎやかなハヤシをつけ、録音テープをつくつて練習希望者に貸出すことになつているので、これまで一番問題とされていた歌詞の改善も成功するだろうといわれている。

歌詞の二三を紹介する。

×××

◎ひびくたいこにほにほがゆれて
おどるおや子もえびす顔
ヨーイサッサヨイサッサ
豊年満作ヨイサッサ
森江野よいとこ
ヨイサッサ

◎嫁にやるなら森江野やらえ
おやもおどれば子もおどる
(ハヤシ前に同じ)

◎親子おどりの太鼓をきけば
鍬や鎌までおどりだす

明るい社会をつくる 父ちゃん、母ちゃんの集い

国見町保護司会では、青少年の不良化を防ぎ明るい社会をつくるための運動の一つとして、大町南北両部落を指定し、青少年補導委員会並に両部落会と共催して、部落町民の話しあいの会を開いた。七月二十九日午後七時半より映画「父ちゃん子」「嫁夫姑」を鑑賞し、これをもとに三つの分科会にわかれ、子供のしつけのことや家庭生活、社会生活などについて研究討議した。固苦しい感じをもたせないため名前をぐつとくだいて「父ちゃん母ちゃんの集い」としたり、小団討議の方法をとつたため、集つた人々の発言も非常に活潑で、有益なものであつた。

出席者六〇名

関係者次の通り

保護司　熊田一怡、佐久間岩吉、佐久間直次、早田盛、佐藤永七

部落長　稲村彦三郎、大勝藤繁

司会者　八巻正雄、佐久間直次、秦三郎

…お知らせ…「山の会」会員募集

春夏秋冬、山を愛し山を楽しむことを好む人々はたくさんありましょう、そのよろこびとたのしみを更に更に大きくするためには、より多くの仲間があつまり、何かと協力してやつていくことが必要と考えられます。こんど同好の士でグループを作るため、左記により結成準備会をもつことになりましたので、ご希望の方は奮つてご参加下さい。

○時…八月二十六日(土)午後二時

○所…役場会議室

○申込連絡所…左記の通り

藤田　小畑洋服店

小坂　佐藤　元一

〝若妻にも自由時間を〟 YMさんに答える(上)

M子より

Yさん、先日はいろいろとご教示いただきまして、まことにありがとうございました。私が前にあげました農家の娯楽の問題、姑づとめの問題、電労働の問題、経済の問題について、あなたのご意見よくわかりました。あなたは、これらのことは自分の考え一つで全部解決できると申されます。しかし、あなたの述べられる解決法というものを拝見しますと、これまで先輩の人やえらい先生たちが教えていられることと大したちがいがありません。あなたは、現在の農村の封建性や不合理をそのままみとめて一方的な忍従と犠牲とあきらめを強いることによつて解決しようと考えているようです。

もつと建設的で、進歩的で積極性の高い前向きの、明るい解決法が考えられないものでしようか。例えばあなたは、にわとりや稲麦野菜の手入れをし生産を高めることの楽しみとよろこびを申されますが、それはその経営一切をまかせられ、自分の責任を果たし、その効果を見ての話で、何をつくつても決算報告一つされない、もちろん利益配当もない、只単に労力の提供者、雑用婦、日傭人に過ぎないものに、はたして楽しみが感じられるでしようか。あなたには、やがて主人の座を受取る楽しみがあるからそれでがまんできるでしようが、妻の座は相変らず角のない牛、年中無賃の傭人です。

世の多くの姑たちは、こうした長い忍従の結果獲得した主婦の座であり、家の財布ですから、ちよつとやそつとで嫁にゆずる気持ちなどあり得ないのがあたりまえでしようか。せつかく習いおぼえた栄養料理で家族の健康をはかりたいと思つても、卵一つ自由にならない現状です。

労働の問題も、あなたは精神一つで克服できる、戦時中の特攻精神のようなものを考えていられるようです。百姓に生れ、百姓で育つた私です。働くことをきらうわけではありません。ただ、もつと計画的に、能率的に働くようにしてはどうでしよう。機械化もした、農薬の進歩で病虫害の防除はもちろん、除草までできるというのに、まだ土用の最中にお尻を天上にしてはい廻つている。昔から働くこと、身体をこきつかうことが美徳と考えてきた百姓だまされ、朝は星をいただいて出かけ、夕は月影をふんで家路に帰る―そんなうたい文句だけ信じてないで、一週四〇時間制とまではいかずとも、科学化、共同化、協業化など、もつと近代的な知識と精神をとり入れて、一週間に一日の休養日を設け、又一日のうちにも家族そろつて娯楽の時間、特に女の教養の時間などをはつきり決めることはできないものでしようか。夕食など小早く片付けて、あとは嫁の自由時間にすることなど、男性の協力さえあれば今すぐにもできることと思われますがいかがでしようか。

お願い

わが国見町商工会では、従業員優遇のため、毎月二十日を定休日としてまいりました。今回、社会の進展に即応して、更にその趣旨を徹底し、消費者各位に対するサービスの万全を期するため、左記の通り九月より月二回の定休日を設けることにいたしました。会員各位はもちろん、消費者の皆様にこの趣旨を諒せられぜひご協力下さいますようお願い申上げます。

国見町商工会

青年団だより

病院　阿部　頴二
森江野小池　幸吉

七月二十三日県北中学校グラウンドで国見連青主催のソフト大会を開き、参加十一チームで熱戦を展開し、決勝では藤田Aと厚樫Aチーム接戦の末12－11で厚樫チーム惜敗

○わらび座を招いて文化活動

国見連青では八月四日移動劇団わらび座を招き、藤田小学校体育館で鑑賞会を開いた。同劇団は、合唱、日本民謡、民族舞踊、地方の古い昔話に取材した芝居など多彩な上演種目をもち、今後の青年団はもちろん、一般社会の文化活動に新しい方向づけを与えたものと思われる。昼は主として小中学生を対象とし、夜は一般成人向のものを熱演し、大なる感銘を与えた。

【写真】歌舞劇「鬼太鼓」の一場面

○ソフトボールで藤田A優勝

婦人会だより

○うで自慢料理発表会…小坂

七月三十一日各部落ごとに材料を持ちより、一品づつの料理を作つて見せ合い、試食をし、作り方の発表研究をした。参加者五十人

○ヤクルト藤田

七月十五日大型バスを貸切り、福島のヤクルト工場と森永ミルク工場を見学し、飯坂のかじか荘で反省会を開いて帰る。参加者九十人

○映画会で資金作り…藤田

七月二十五日資金作りのため藤田劇場で映画会

○劇団招いて敬老会…森江野

四月二十九日高令者一〇〇名を招き、さつき劇団の芝居でこれを慰めた。尚徳江の八巻綿店では例の通り八十才の高令者五名に対し、上等の絹座ぶとんを贈つた

○鎌先温泉に遠足…森江野

四月二十三日役員四十人で鎌先温泉に慰労旅行をした

○プールの飛石寄附…森江野

森江野小学校にプールがつくられたことは既報の通りだが、校舎とプールを連絡するための飛石をつくるためその資金として八〇〇〇円を寄附した。

○映画会で六千円…大木戸

七月八日小学校で映画会を開き、約六千円の収益をあげた。

○石けんで活動資金…大木戸

会員の使う石けんを共同購入し、その利益一ケ月一六五〇円もあつたので、これを会の活動資金にあてることにしている。年間二万円が見込まれている。